

2024 年 度

世 界 史 B

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙の決められた箇所に記入してください。
記号で答えられるものは記号で記入してください。
3. 試験開始後、解答用紙に氏名・受験番号を記入してください。
4. 試験問題はこの冊子の1～13ページに記載されています。
問題冊子の白紙部分は、メモとして使用して構いません。
5. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I フランス七月革命に関する以下の2つの文章を読んで、文中の空欄 ～
 にあてはまる最も適切な語句を記入し、下線部(1)～(3)に対応する問1～3に答えなさい。なお、人名で「何世」とつく場合はかならずつけること。(例「ジョージ7世」)

1.

1814年、ナポレオン1世の退位とウィーン会議の取決めに⁽¹⁾より、フランス革命前の正統な王朝である 朝がフランスに復活することになり、革命中に処刑されたルイ16世の弟プロヴァンス伯が同年 として即位し、王政復古がなった。以後、ナポレオンの「」(1815年3～6月)の中断を挟み、次の (在位1824～30年)までが、フランスの復古王朝の時代である。憲法は制定されず、「憲章」によって王権と二院制議会の妥協が図られたが、ウィーン体制に呼応してしだいに反動的傾向が強くなり、過激王党に集まった旧貴族が旧制度の復活を策したため、革命の成果を守ろうとする自由主義ブルジョワを中心に国民の不満は高まった。

(今井宏「王政復古」小学館『日本大百科全書』より引用。文章は一部改変)

2.

1825年ごろから の露骨な反動政策に対して国民各層の不満が深まり、⁽²⁾
27、28年の経済不況がそれをいっそう激化させた。27年の下院選挙では反政府派が過半数を制したが、29年8月過激王党のポリニャックが内閣を組織すると、ブルジョワ自由主義者と学生、小市民ら共和派の反抗が急速に強まった。30年3月の国王の議会開会演説は、公安維持のために非常大権の行使をほのめかす威嚇的なもので、下院は「221名の奉答文」によって内閣に対する不信と協力拒否を表明した。国王は5月16日議会を解散したが、選挙の結果は反政府派の圧勝となったため、7月25日勅令を発して定期刊行物の自由の停止、未招集議会の解散、選挙法改正、9月選挙を命じた。この七月勅令は、言論統制の強化によって反政府派の政治活動の手段を奪うとともに、選挙法を大土地所有者に有利に改めることによって政府派が多数を占める議会を創出しようとするものであった。

この勅令に対してパリのジャーナリストは、のちに第二帝政崩壊後に樹立された
[E] の初代大統領となる [F] を中心に共同抗議文を起草、自由主義の
新聞に対する警察の弾圧を口火に、労働者、小市民、学生らパリ民衆の武装蜂起が
起こった。民衆はしだいに軍隊を圧倒し、ついにルーヴル宮⁽³⁾に侵入、パリは完全に
革命側の手に帰した。蜂起の勝利とともに大銀行家ラフィットを中心とする自由主
義政治家たちは、市委員会を組織して事態の主導権を握り、[A] 家の支配の
終焉を宣言、進歩的王族として知られていた [G] 家の [H] を国王代理
官の地位につけ、蜂起指導者が目ざしていた共和国の樹立を阻止することに成功し
た。七月革命は、[A] 派の旧貴族＝大土地所有者の政治支配を決定的に打ち
破ったが、「光栄の三日間」とも称されたこの民衆革命の成果は、大ブルジョワの手
に摘み取られたのである。[D] は、王位を孫ボルドー公(後のシャンボール
伯)に継がせようとしたが、[H] はこれを認めず、[D] はイギリスへ
の亡命の途についた。[H] は議会を招集して1814年憲章の改正を告げ、ラ
フィット、[F] らにより起草された修正憲章が両院で可決された。これは
[A] 王権の正統性を説く旧憲章の前文と国王の緊急勅令発布権の規定を削除
し、かつ、従来国王が独占していた法律発議権を上下両院にも認めるものであっ
た。[H] は議会から「フランス人の王」の称号を受けると、自ら修正憲章に宣
誓して王位につき、正式に七月王政が発足した。

七月革命の成功は、ウィーン体制下のヨーロッパ諸国に大きな影響を与え、各地
で自由主義、民族主義の運動が起こったが、[I] がオランダから独立を勝ち
とったほかは、反動勢力によって鎮圧された。

(服部春彦「七月革命」小学館『日本大百科全書』より引用。文章は一部改変)

- 問1 (a) ナポレオン＝ボナパルトは、1769年にイタリア半島の西側に位置する島で生まれた。その島の名を答えなさい。
- (b) ナポレオン＝ボナパルトが皇帝に即位し、ナポレオン1世となったのは何年か。年号を答えなさい。
- (c) 1814年5月、退位後のナポレオンが流されたイタリア半島沖の島の名を答えなさい。

問2

 は国民の不満を外にそらすため、1830年、アルジェリアへの出兵を強行し、これが130年以上にわたる植民地化の出発点となった。アルジェリアに関する以下の問いに答えなさい。

- (a) 1954年、アルジェリアではフランスからの独立をめざす武装組織が結成された。「FLN」と略されるこの組織は、1962年に独立を実現した後、長期にわたり政権を握った。この組織の名を答えなさい。
- (b) 1962年にアルジェリアが独立した時のフランス大統領の名を答えなさい。

問3 ルーヴル宮殿は、現在は美術館として使用されている。その収蔵品に関する以下の問いに答えなさい。

- (a) この大理石像は、1820年にオスマン帝国統治下のある島で発見され、その島に由来する名称で呼ばれている。この像は、一般に何と呼ばれているか。

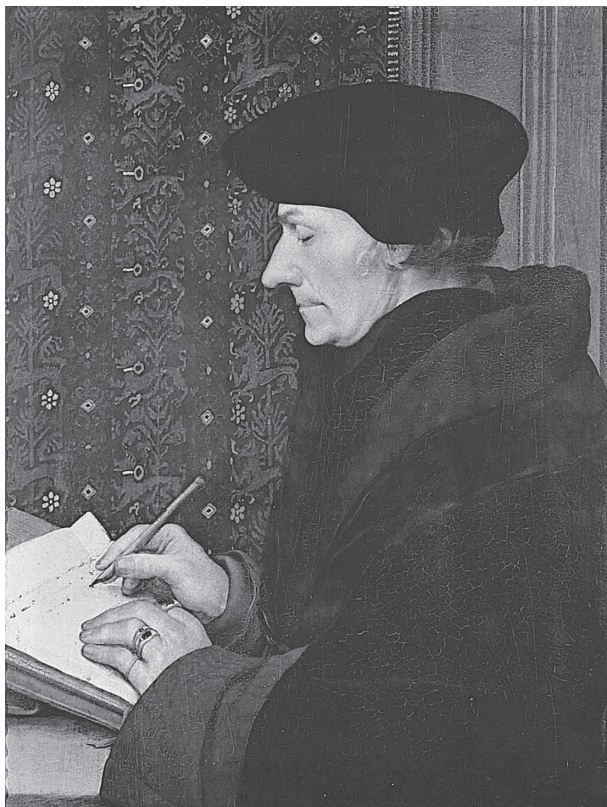


- (b) この肖像画のモデルは、リザ＝デル＝ジョコンドだとされており、その夫フランチェスコ＝デル＝ジョコンドが、ある人物に描かせたものだといわれている。ジョコンド夫妻は、イタリア＝ルネサンスの中心地であったトスカナ地方の都市に暮らしていた。その都市名を答えなさい。



- (c) 上記(b)のリザ＝デル＝ジョコンドの肖像画を描いた人物は、最晩年にフランス国王に招かれ、国王の居城であったアンボワーズ城の近くにあるクロ＝リュセ城で暮らすことになった。この肖像画は、そのフランス国王によって買い上げられ、以後、フランス王室の絵画コレクションに属することとなった。このフランス国王の名を答えなさい。

- (d) この絵画は、風刺文学『痴愚神礼讃』で有名な人文主義者エラスムスの肖像画だといわれている。この肖像画を描いたドイツ出身の画家の名を答えなさい。



- (e) この絵画は、七月革命をテーマとし、ロマン主義の代表作といわれている。この絵画の作品名を答えなさい。



- (f) 上記(e)の絵画を描いたフランスの画家の名を答えなさい。

Ⅱ 次の文章を読んで、文中の空欄 A ～ O にあてはまる最も適切な語句を記入しなさい。なお、人名で「何世」とつく場合はかならずつけること。(例「ジョージ7世」)

ゲルマン人の一派である A 人は、イタリア半島を北上してガリアに入った。そこから西進して南ガリアを支配し、415年にはイベリア半島に入り、ヴァンダル人を追い出して、418年にガリア南部(アキテーヌ地方)とイベリア半島北部を支配し、 A 王国を建国した。 A 王国は、6世紀半ばから首都となった B を中心に繁栄した。その繁栄を終わらせたのは、モロッコ・アルジェリアの先住民であった C 人のムスリム勢力が711年にイベリア半島に侵入し、翌年にかけて同半島のほとんどの領土を支配下においたときのことであった。

そのため、スペインは大きく変貌した。一時期はイベリア半島のほとんどがイスラームの支配下に入り、8世紀初頭には北部のアストゥリアスだけがキリスト教圏として残った。それ以降、レコンキスタにより、イベリア半島から徐々にムスリムが追い出されていくことになった。

イスラーム世界では、632年に D が亡くなると、661年まで正統カリフ時代が続いた。この時代には、 D の後継者を意味するカリフが選挙により選ばれた。彼らはすべて、 D の血縁者であった。彼らは積極的に聖戦(ジハード)をおこない、イスラームの領土を大きく拡大した。

それに対しウマイヤ朝はカリフを世襲とし、661年から750年まで西アジアを支配し、 E に都をおいた。同王朝が F 朝により750年に滅ぼされると、ウマイヤ家の一人が遠くイベリア半島に逃れ、756年に王朝を建てた。この王朝は G を都として独自の文化を生み出した。

その後、第8代君主の H (在位912年～961年)は、レコンキスタを逆に弾圧し、後ウマイヤ朝の領土を拡大していった。そしてイベリア半島をほぼ手中に収めると、アフリカにまで侵攻した。彼は、イベリア半島の C 人、アラブ人、ユダヤ人、キリスト教徒の融和をはかった。さらに官僚として、ムスリムだけではなく、ユダヤ人やキリスト教徒の奴隷を採用した。スペインにおけるムスリム

の支配者たちは、外交と行政はユダヤ人に頼ったのである。ユダヤ人は や のような都市に居住し、商業で重要な役割を果たした。そのため商業に従事する人々は、 の時代に豊かになっていった。

は、その統治下でムスリムとユダヤ人の共存に成功した。また彼は、ギリシア哲学の重要性に気づいた。そのため は、スペインのみならずヨーロッパ的意味での学問の中心となり、アリストテレスの作品がいくつかの言語に翻訳されていったのである。(中略)

後ウマイヤ朝が減んだのは、1031年のことである。その後スペインでは、レコンキスタが盛んになる。イスラーム王国としてはモロッコを中心に 人によって建てられたムラービト朝が、さらに1147年にそれを倒した 朝が隆盛となるが、13世紀になると、 王国と 王国によって征服された。さらに、 から分離独立したポルトガルが、国土を拡大していった。そのためイベリア半島で残るイスラーム王国は、1232年に成立した 朝の 王国だけになった。

1469年に の王女 と の王子 が結婚した。そして1479年に両国は統合してスペイン王国となった。スペイン王国は2人によって共同統治され、同王国は1492年1月、イスラーム教国 朝の最後の拠点であった首都の を陥落させる。イスラーム勢力はイベリア半島から撤退し、レコンキスタが完成することになった。

(玉木俊明『迫害された移民の経済史 ヨーロッパ覇権、影の主役』より引用。文章は一部改変)

Ⅲ 次の文章A～Eは、古代中国のできごとを伝えた史書からの抜粋である。これを読んで下の問いに答えなさい。

A.

今、天下已に定まり、法令一に出で、百姓(人民)は家に当たりては則ち農工に力め、士は則ち法令を学習し、禁を辟く。今、諸生は今を師とせず古えに学び、以て当世を非り、黔首(人民)を惑乱す。……臣請うらくは、史官の秦記に非ざるは皆な之れを焼き、博士の官の職する所に非ずして、天下に敢て詩・書・百家の語を蔵むる者あらば、悉く守・尉に詣りて、雑えて之れを焼かん。敢て詩書を偶語する(二人以上で語り合う)者有らば、棄市せん。古えを以て今を非る者は族せん。吏の見知して挙げざる者は与に同罪とせん。令下りて三十日焼かざれば、黥(入墨)し城旦(長城修築と警備の労役刑)と為さん。去らざる所の者は、医藥・卜筮・種樹(農業)の書なり。若し法令を学ぶこと有らんと欲すれば、吏を以て師と為さん。

B.

項王の軍、垓下に壁す。兵少なく食尽く。漢軍及び諸侯の兵、これを囲むこと数重。夜、漢軍の四面、皆楚歌するを聞く。項王、乃ち大いに驚きて曰く、「漢、皆已に楚を得たるか。是れ何ぞ楚人の多きや」と。項王則ち夜起きて、帳中に飲む。美人あり、名は虞、常に幸せられて従う。駿馬、名は騅、常にこれに騎す。是に於て項王、乃ち悲歌慷慨す。自ら詩を為りて曰く、「力は山を抜き、気は世を蓋う。時利あらず、騅逝かず。騅の逝かざるを奈何すべき。虞や虞や、若を奈何せん」と。歌うこと数闋。美人、これに和す。項王、泣数行下る。左右、皆泣き、能く仰ぎ視る莫し。

C.

後数歳、琅邪(山東省諸城市)の人樊崇、兵を莒(山東省莒県)に起こすこと、衆百餘人、転じて太山(泰山)に入り、自ら三老(漢代の村落の長老)を号す。時に青・徐(山東省・江蘇省)大いに飢え、寇賊蜂起す。衆盜は崇の勇猛なるを以て皆な之れに附し、一歳の間に万餘人に至る。……初め、崇等困窮を以て寇を為し、攻城徇地

(占領地の経営)の計無し。衆既に^{ようや}寝く盛んになるや、乃ち相ともに^{あい}約を為す。人を殺す者は死、人を傷つくる者は^{きず}創を償う。言辞を以て約束を為し、文書・^{せい}旌旗・部曲(細かい部隊編制)・号令無し。其の中の最も尊き者は三老と号し、次は從事、次は卒史、^お汎くは相称して巨人と曰う。王莽は平均公廉丹・^{おうもう}太師王^{れんたん}匡^{おうきやう}を遣わして之れを撃たんとす。崇等戦わんと欲すれど、其の衆の莽兵と乱るるを恐れ、乃ち皆な其の眉を^{あか}朱くし以て相識別す。……楚・沛・汝南・^{はい}潁川^{えいせん}を掠し、還りて陳留に入り、魯城を攻拔し、^{ぼくよう}転じて濮陽に至る。……

D.

……自ら大賢良師と称し、^き黄老の道を奉事して弟子を畜養す。^{はい}跪拝首過、符水呪説もて、以て病を^{いや}療す。^{すこぶ}病者頗る癒ゆれば、百姓信じて之れに向かう。……因りて弟子八人を遣わして四方に使いせしめ、善道を以て天下を教化し、^き転相(互いに)誑惑す。^{きやうわく}十餘年間に、衆徒数十万、郡国に連結す。^き青・徐・幽・冀・荆・楊(揚)・^{えん}兗・^{わい}予(黄河・^が淮河下流域の諸州)の八州自りの人、^{ことごと}畢く^よ応ぜざるは莫し。遂に三十六方を置く。方とは^な猶お將軍の号なり。大方は万餘人、小方は六、七千、各々渠帥(指導者)を立つ。^{きよすい}訛言すらく(うわさを流す)、「蒼天已に死す、^か黄天^{げん}当に立つべし。歳は甲子に在り、天下大吉ならん」と。^{まさ}白土を以て京城の寺門及び州都の官府に書するに、皆な「甲子」の字に作る。中平元年(甲子)、……一時に^{とも}俱に起つ。

E.

……^{わか}少き時、^{かつ}嘗て人の傭耕に^{あずか}与り、^{やめ}耕を輟て^{ろうじやう}壟上(丘の上)に^ゆ之き、^{ちやうこん}悵恨する(思い歎く)こと之れを久しくし、曰く、「^も苟し富貴なりとも、相忘るること無からん」と。^{やと}庸う者は笑いて^{こた}応えて曰く、「^{なんじ}若は傭耕を為すに何ぞ富貴ならんや」と。……^{はなは}太^{そく}だ息して(ため息をついて)曰く、「^あ嗟乎、^あ燕雀^{いづく}安んぞ^{こうこく}鴻鵠の志を知らんや」と。二世元年七月、^{りよ}閭左^さを^{たまたま}発して^{たたく}漁陽に^{じゆ}適戍せしめ(防衛軍として徴発し)、^{だいたくきやう}九百人^{はか}大沢郷に屯す。……^{はか}会^{たまたま}天大いに雨ふるに、道通ぜざれば、^{ざん}度るに已に期を失わんとす。期を失わば、法は皆な^{ざん}斬(身体を切断する死刑)。……召して徒属に令して曰く、「公等は雨に遇い、皆な已に期を失えり。期を失わば斬に当る。

たと^たた^なだ斬すること母からしむとも、^{まも}戍りて死する者は固より十に六、七なり。且つ壮士は死せざるも即^{すなわ}ち^や已み、死して即ち大名を挙ぐるのみ。王侯将相寧^{いずく}んぞ種有らんや」と。

(歴史学研究会編『世界史史料3』岩波書店、田中謙二・一海知義『中国古典選19
史記二』朝日文庫より引用。文章は一部改変)

問1 それぞれの文章に最も関わりの深い人物の名を、以下の語群から一つ選び、
記号で解答欄に記入しなさい。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| (あ) 玄宗 | (い) 岳飛 | (う) 張角 | (え) 張騫 | (お) 陳勝 |
| (か) 武帝 | (き) 李斯 | (く) 劉秀 | (け) 劉備 | (こ) 劉邦 |

問2 それぞれの文章に描かれたできごとの後、これに密接に関連して起きたこと
がらとして最も適切なものを、以下の選択肢から一つ選び、記号で解答欄に記
入しなさい。

- (あ) この戦いに勝利した人物が、皇帝となって漢王朝を建国した。
- (い) このできごとは、始皇帝による強圧的な政治を象徴するものとされ、人々の不満を高めることにつながった。
- (う) この反乱を契機として各地に反乱が飛び火し、各地の豪族が自立して、後漢の滅亡が決定的になった。
- (え) この乱を契機として挙兵した人物が、皇帝となって漢を再興し、この乱を平定した。
- (お) この乱を平定した人物が、中国の統一に成功し、初めて皇帝の称号を用いた。
- (か) 始皇帝の死後に起きたこの農民反乱を契機として、各地で反乱が起こり、秦の滅亡につながった。

Ⅳ ヨーロッパの政治家に関する問1～5に答えなさい。

問1 冷戦下にあって、東方外交をつうじてデタント(緊張緩和)を推進し、ノーベル平和賞を受賞したが、秘書のスパイ事件の責任をとって辞職した西ドイツの首相は誰か。

問2 1968年の「プラハの春」の際、チェコスロヴァキア第一書記として「人間の顔をした社会主義」を旗印に民主化を進めたが、ワルシャワ条約機構軍の介入により解任された政治家は誰か。

問3 ドイツ人として生まれたが、第一次世界大戦でアルザス＝ロレーヌ地方がフランス領となったことに伴いフランス国籍を取得し、第二次世界大戦後は同国の外相としてヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)創設を提案するなど、独仏和解に努めた政治家は誰か。

問4 レーガン米大統領と共に新自由主義の旗手とされた、イギリス史上初の女性首相は誰か。

問5 第二次世界大戦中にドイツに対するパルチザン運動を指導し、戦後はユーゴスラヴィアの首相・大統領として、労働者の自主管理を特徴とする独自の社会主義路線を推進したのは誰か。